

ISHIKAWA AIR RESCUE TEAM

石川県消防防災航空隊



BELL412EP JA893F

1. 「いしかわの消防」
2. TEAM Guide
3. Mission
4. 空の勇者たち
5. 「大空から安全・安心を！」

〒923-0993 石川県小松市浮柳町小松空港内
TEL 0761-24-8930 / FAX 0761-24-8931
E-mail: ja893f@pref.ishikawa.jp

・「いしかわの消防」

石川県は、南北に細長く、変化に富んだ海岸線の能登地域、貴重な動植物が分布する白山地域、いで湯とくつろぎの里の加賀地域、そして、加賀百万石の歴史と伝統文化が息づく県都金沢からなり、豊かな自然と歴史・文化が集積しています。

「いしかわの消防」は、加賀鳶の輝かしい伝統を受け継いだ消防精神にささえられ、安全で安心して暮らすことができる地域社会を目指し、県下10市9町、11消防本部（局）で構成され、消防体制の整備拡充に努め、幅広い消防防災活動を行っております。

・ TEAM Guide

1 運航基地

小松市浮柳町 小松空港内「石川県航空消防防災グループ」

2 石川県航空消防防災グループの配置

グループ	消防防災航空隊			運航業務委託		
	隊長	副隊長	隊員	操縦担当	整備担当	運航安全管理担当
1名	1名	2名	5名	1名	2名	1名

3 「はくさん」の愛称

ヘリコプターは、「はくさん」と命名しました。「白山」は、石川県の南側に位置する高さ2,702mの御前峰を最高峰に、その山々は、石川、岐阜、福井、富山の4県にまたがり、古くから「しらやま」の名で知られており、昭和37年に国立公園に指定されました。

4 機体カラー

「赤色」は、消防のイメージカラー、「白色」は、白山の雪、「青色の二本線」は、能登半島の外浦と内浦を表しています。

5 ウィングマーク

ウィングマークは、県鳥「イヌワシ」と「県旗」をデザイン化したものです。



6 エンブレム

エンブレムは、「白山連峰」を飛行する「はくさん」をイメージし、中央に「県旗」を用い、「LEAVE THE DISASTER TO US!」とは、「災害は、我々に任せて下さい!」という意味を表している。



・Mission

年 度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
種 別		件数	飛行時間	件数	飛行時間	件数	飛行時間
緊急運航	救 助 活 動	36	48:55	25	50:07	24	27:45
	救 急 活 動	25	25:30	24	24:31	27	43:43
	火災防御活動	0	00:00	0	00:00	1	1:43
	災害応急対策活動	4	03:51	8	09:48	13	17:59
	広域航空消防 防災応援活動	3	05:25	16	17:22	7	7:02
	小 計	68	83:41	73	101:48	72	98:12
通常運航	自 隊 訓 練	76	99:33	87	111:24	82	102:36
	災害予防活動	29	30:16	32	34:46	25	27:56
	一般行政活動	4	08:07	6	10:08	3	2:28
	その他の活動	8	14:03	15	18:25	12	15:47
	小 計	117	151:59	140	174:43	122	148:47
合 計		185	235:40	213	276:31	194	246:59

1 自隊訓練風景



パラグライダー宙づり救出訓練



急流河川バックアップ設定訓練



水難救助訓練



山岳救助訓練



連携訓練（消火訓練）



連携訓練（消防隊投入）

・空の勇者たち

1 石川県航空防災対策連絡会

石川県は、各防災関係機関相互の連絡強調を図るために平成9年8月に「石川県航空防災対策連絡会」を設置しました。

(1) 組織

石川県、石川県警察本部、航空自衛隊第6航空団、航空自衛隊小松救難隊、第9管区海上保安本部

(2) 業務

- ・救難・救助等の災害時における連絡体制
- ・救難・救助等の災害時における回転翼航空機等の出動体制
- ・回転翼航空機の運航体制

・「大空から安全・安心を！」

平成9年4月23日の運航開始以来、緊急運航件数が増加傾向にあり、改めてヘリコプターの有用性が認識され、より一層の安全運航及び安全・確実かつ迅速な消防防災活動が求められております。

また、平成19年3月に発生した能登半島地震では、航空消防活動の機動

性、有効性が発揮され、県民の期待もより一層高まっています。

その期待に応えられるよう、更なる飛躍を目指し、大空からの安全・安心に努めていきたいと思えます。